

計画の名称	1 筑前町における快適な生活環境の推進									
計画の期間	平成22年度～平成24年度（3年間）		交付対象	筑前町						
計画の目標	下水道整備を実施することにより、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水被害の解消を図り、安全で快適な暮らしの確保を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率が82.7%（H22）から87.8%（H24）に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策の達成率が37.9%（H22）から38.1%（H24）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算式										
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	当初現況値 (H22当初)	定量的指標の現況値及び目標値 中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H24末)	備考 (定量的指標の採用年度) 当初 中間 最終						
	82.7%	—	87.8%	H21末	— H23末					
② 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。下水道による都市浸水対策達成率（%） 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha） / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）	37.9%	—	38.1%	H21末	— H24末					
	全体事業費	合計 (A+B+C)	1,472百万円	A	1,435百万円	B	0百万円	C	37百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価（中間評価）

○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制		事後評価（中間評価）の実施時期 平成25年8月 公表の方法 筑前町ホームページ
筑前町		

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A447-1	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	汚水	新設	宝満川上流処理区汚水枝線整備	汚水枝線 A=39.7ha	筑前町						435	
A447-2	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	処理場	増設	三輪中央浄化センター水処理施設増設	水処理増設 (2,400m3/日)	筑前町						556	
A447-3	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	雨水	新設	宝満川上流排水区雨水管渠整備	雨水管渠 L=148m	筑前町						25	
A447-4	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	雨水	新設	三輪中央排水区雨水管渠整備	雨水管渠 L=1,611m	筑前町						419	
											合計					1,435	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C447-1	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	新設	宝満川上流処理区汚水枝管整備	汚水枝管整備 L=395m	筑前町						18		
C447-3	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	新設	三輪中央排水区雨水枝管整備	雨水枝管整備 L=158m	筑前町						7		
C447-4	下水道	一般	筑前町	直接	筑前町	新設	接続補助（下水道区域全域）	排水設備 L=299m、N=59箇所	筑前町						12		
											合計					37	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																
C447-1	基幹事業である汚水枝線と接続する末端等の枝線整備（小規模汚水管）を一体的に行うことにより、下水道接続人口の向上が図られ料金収入が増加し下水道経営の健全化が図られる。																
C447-3	基幹事業である雨水管渠と接続する枝管整備を一体的に行うことにより、浸水対策区域の解消をより高めることができる。																
C447-4	新築等に併住宅等の公共汚水ますを整備することにより、接続人口を増加させ快適な生活環境の整備を一層高めることができる。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道処理人口普及率が82.7%（H21末）から88.1%（H23末）となり、25,771人が下水道を使用できることとなった。 ・下水道による都市浸水対策達成率が37.9%（H21末）から38.1%（H24末）に増加させたことで、家屋等浸水被害の低減に繋がった。					
	II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	87.8%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標達成
		最終実績値	88.1%			
		指標②（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	38.1%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標達成
最終実績値			38.1%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項（今後の方針等）						
平成22年度から平成24年度までの3年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標はほぼ達成することが出来た。今後も汚水の未普及対策と雨水による浸水対策を進めていく。						